

甲賀市予算

令和2年度の市の予算が決まりました。
第2次総合計画の第1期として、これまで深化させてきた取り組みをベースに、次へ「ステップアップ」する予算についてお知らせします。

施政方針(要旨)

オール甲賀で未来につなぐ！
ステップアップ予算

甲賀市長 岩永 裕貴

令和2年度の一般会計当初予算は、第2次甲賀市総合計画の第1期基本計画ならびに第1次総合計画実施計画の最終年度の総仕上げとして、これまでの取り組みをさらにステップアップさせる重要な年であることから「オール甲賀で未来につなぐ！ステップアップ予算」としました。

「子育て・教育」、「地域経済」、「福祉・介護」の3つの分野でこれまで取り組んできた実績をベースに、さらに事業効果を生み出し、市民の皆様の生活に直結する課題の解決につなげていきたいと考えております。先行きが不透明なこの時代においても、果敢に挑戦していく、そこにはリスクもありますが、失敗を恐れて何も挑戦しないのが最大のリスクであると考え、これからも皆様とともにさらなる市政の発展に向け、各種施策の推進に邁進していく覚悟でありますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

特別会計・企業会計

特定の事業を行うための4つの「特別会計」と上下水道や病院などの収益事業を行う5つの「企業会計」に分類し、経理しています。

	予算額		
	令和2年度	令和元年度	前年度比較
特別会計			
国民健康保険	85億7,900万円	86億4,200万円	△6,300万円
後期高齢者医療	20億5,500万円	20億600万円	+4,900万円
介護保険	79億4,800万円	76億7,100万円	+2億7,700万円
野洲川基幹水利施設管理事業	4,485万円	3,898万円	+587万円
小計	186億2,685万円	183億5,798万円	+2億6,887万円
企業会計			
病院事業	収益的支出 8億4,069万円	8億571万円	+3,498万円
	資本的支出 6,925万円	6,597万円	+328万円
水道事業	収益的支出 28億5,996万円	26億9,130万円	+1億6,866万円
	資本的支出 17億896万円	16億5,394万円	+5,502万円
診療所事業	収益的支出 2億2,940万円	2億2,490万円	+450万円
	資本的支出 1,195万円	560万円	+635万円
介護老人保健施設事業	収益的支出 3億2,470万円	3億1,790万円	+680万円
	資本的支出 1,302万円	1,280万円	+22万円
下水道事業	収益的支出 36億6,229万円	37億7,319万円	△1億1,090万円
	資本的支出 28億7,280万円	29億7,911万円	△1億631万円
小計	125億9,302万円	125億3,042万円	+6,260万円
合計	312億1,987万円	308億8,840万円	+3億3,147万円

一般会計

歳出

予算のポイント
福祉、教育のための施策に重点

昨年度に引き続き、子どもや高齢者、障がい者などの福祉のための費用である民生費の割合が最も多く、歳出全体の35.3%を占めています。

また、教育費は、合併特例債事業の終了により令和元年度当初予算と比較して32億円減少していますが、合併特例債事業を除いた場合、1億5千万円増加しました。

歳入

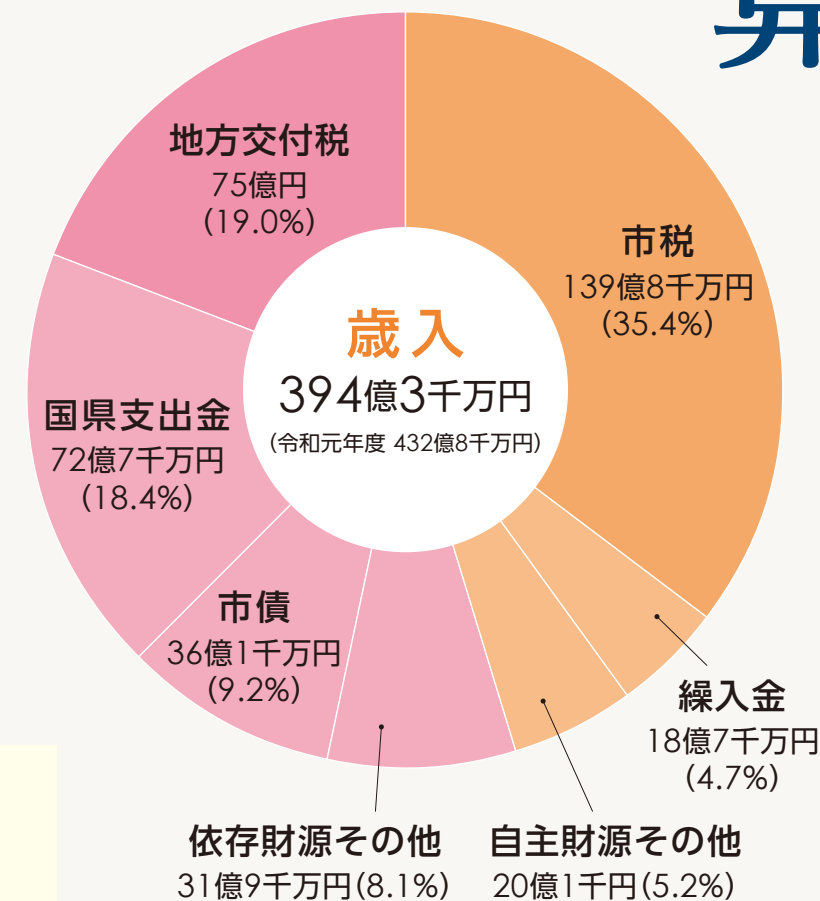
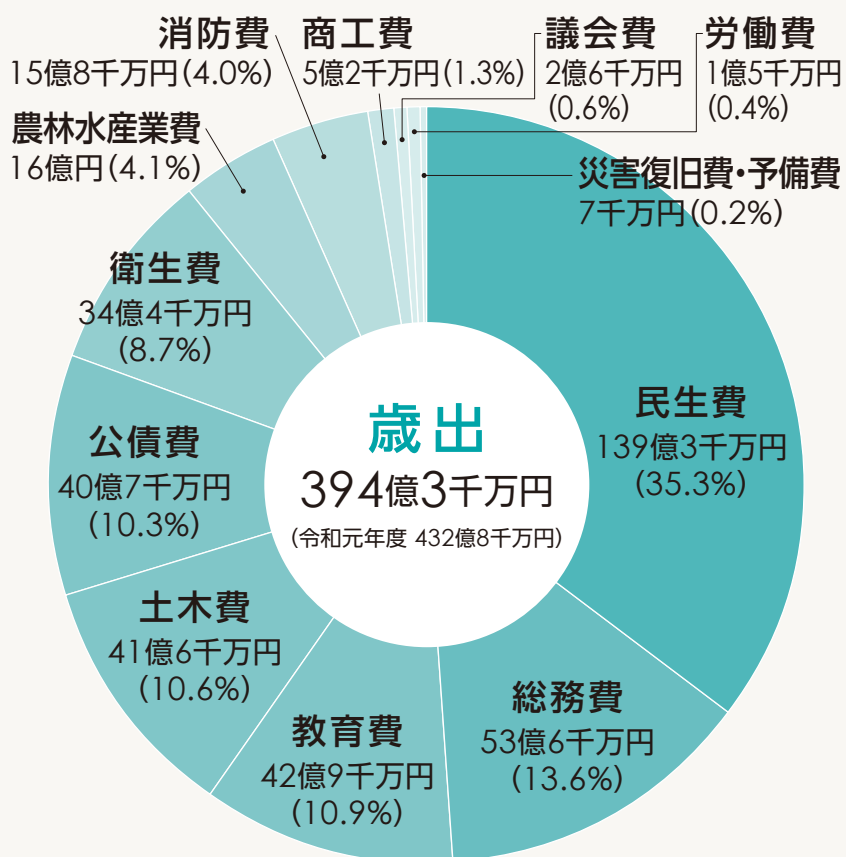
予算のポイント
合併特例債事業の減少により市債が大幅減

歳入予算のうち、市税は139億8千万円で歳入全体の35.4%を占めています。

市債は、合併特例債を活用した事業の減少により、令和元年度当初予算と比較して、40億5千万円減少しました。

●自主財源
市が自主的に収入することができるもの

●依存財源
国や県の意思決定に基づき収入されるもの
市債も依存財源に該当



一般会計(市の基本となる会計)

一般会計予算総額は、394億3千万円で、令和元年度当初予算から38億5千万円減少しました。かねてより老朽化が課題となっていた子育て・教育関連施設の整備に一定の目途がつき、合併特例債活用事業がピークを過ぎたためです。

※合併特例債とは…合併市町村への財政支援措置で、公共施設建設などの事業費の95%まで借りることができる起債(借金)。利息を含めた返済額の7割が国からの地方交付税でカバー(措置)される大変有利な制度。

※内訳について単位未満を四捨五入しているため合計が合わないことがあります。